

改定履歴

日付	内容	版数
2009/5/28	初版作成	1.00

目次

1. 事前確認 1. 1 『仕訳BIEX for SuperStream』【評価版】について 1. 2. SuperStreamのバージョン確認 1. 3. ダウンロード&ファイル解凍 1. 4 稼動条件	 P4 P4 P4 P5
2. サーバインストール作業 2. 1. インストールの準備 2. 2. インストールの実施	 Р7 Р9
3. クライアント設定作業 3. 1. 「クライアントプログラム」の配備 3. 2. 各種設定	 P10 P10
 4. 動作確認 4. 1. 動作確認作業 4. 2. 動作確認でエラーが発生したら。。。。。 	 P13 P14
5. アンインストールについて 5. 1. サーバアンインストール作業 5. 2. クライアントアンインストール作業	 P15 P16

※「仕訳BIEX for SuperStream」は、Excel(R) spreadsheet software ベースのアプリケーションです。 ※Microsoft, Excel, および Windows は、米国Microsoft Corporation の、米国、日本、 およびその他の国における登録商標、または商標です。

1事前確認と事前作業

- 1. 1. 『仕訳BIEX for SuperStream』【評価版】について
 - 1) 『仕訳BIEX for SuperStream』【評価版】は、【製品版】と画面操作方法等は全く同じになります。 但し、【製品版】と異なり、バッチインプットを実行しても、SuperStreamの外部仕訳ワークには書き込まれません。
- 1. 2. SuperStreamのバージョン確認



- 1.3.ダウンロード&ファイル解凍
 - 1) SuperStreamのバージョンに応じたソフトウェアを、当社ホームページよりダウンロードして下さい。 http://www.kicnet.co.jp/solution/accounts_sales/superstream/info.html

🔽 上記規約に同意する。

SuperStream バージョン	マニュアル	ソフトウェア
20060731版以前	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	規約に同意してダウンロード
20070731版以降	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	規約に同意してダウンロード

※ダウンロードしたEXEファイルを実行すると、以下のソフトウェアのフォルダ群が展開されます。

【フォルダ構成】 └──【仕訳BIEX 評価版】2006年以前 │──クライアントプログラム │ └──環境設定 └──サーバープログラム │──01オブジェクト │──02データ登録 │──03バッチスクリプト │──03バッチスクリプト │──11インストール │──21ログ └──D1ドキュメント └──Oracleクライアントインストールガイド

1.4 クライアント稼動条件

- 1) 『仕訳BIEX for SuperStream』を実行する為の稼動条件(クライアントPC) ①SuperStreamを使用しているクライアントPCである事 ②Oracleのoo4oがインストールされている事
- 2) Oracleのoo4oのインストール確認方法
 - ①Excelの「Visial Basic Editer」の参照設定で「Oracle InProc Server xx.0 Type Library」が参照可能であることを確認して下さい。 Oracleクライアントのバージョンによって名称が異なります。
 - 9i \rightarrow [Oracle InProc Server 4.0 Type Library]
 - $10g \rightarrow \lceil \text{Oracle InProc Server 5.0 Type Library} \rfloor$



★注意★

※「Oracle InProc Server xx.0 Type Library」が複数バージョンある場合は、 『仕訳BIEX for SuperStream』を実行できません。(通常複数バージョンはインストールされません) Oracleのアンインストールが正常に行われていない可能性があるので Oracleの再インストールを実施して下さい。 ②「Universal Installer」で「oo4o」がインストール済みであるかを確認して下さい ※oo4oとは、「Oracle Objects for OLE」

Oracle 10g	Oracle 9i
メンベントリ 図	※インペントリ
内容(N) 環境(E) 次のOracle製品がインストールされています。 中口Oracle Administration Assistant for Windows 10.2. 中口Oracle Objects for OLE 10.2.0.1.0 製品情報 場所: C'oracle'product'10.2.0/kb_1'oracle.oo4o 「空のホームを表示する。 Oracle ソフトウェアを削除するには、アイテムにチェックマークを付けて、「削除」をクリックしてください。 インストール済の言語と、コンポーネントのその他の詳細を表示するには、コンポーネントを選択してから「詳細」をクリックします。 副協(限): 「詳細(D): 削除(R): ヘルブ(H) 別名保存(S):	次のOracle製品がインストールされています。: ●□ Oracle Internet Directory Client 9.2.0.1.0 ●□ Oracle Windows Interfaces 9.2.0.1.0 ●□ Oracle Services For Microsoft Transaction Server 9.2.0.1 ●□ Oracle Administration Assistant for Windows NT 9.2.0.1 ●□ Oracle Objects for OLE 9.2.0.4.4 ●□ Oracle Protein Oracle Protein Oracle Protein Oracle Protein Oracle XMI ●□ Oracle XMI ●□ Oracle XMI ●□ Oracle Notein Oracle Protein Oracle XMI ●□ Oracle Protein Oracle XMI ●□ Oracle Protein Oracle Protein Oracle XMI ●□ Oracle Protein Oracle Protein Oracle XMI ●□ Oracle Protein Oracle Protein Oracle Protein Oracle XMI ●□ Oracle Protein Oracle Protein Oracle XMI ●□ Oracle Protein Oracle Prote

6/16

3) Oracleのoo4oがインストールされていない場合

①Oracle製品CD-ROMからのOracleクライアントインストールでoo4oをインストールして下さい。
 【注意事項】
 ・「カスタム」でインストールすること
 ・「OralceHome」の指定は、既存のフォルダにすること
 ◎Oracle9iの場合
 「カスタム」で「Oracle Windows Interface 9.2.0.1」を追加選択する。
 もしくは「Oracle Data Provider for .NET 9.2.0.4」が含まれるように追加します。

◎Oracle10gの場合

「カスタム」で「Oracle Windows Interfaces 10.2.0.1.0」を追加選択します。

2. サーバインストール作業

2.1.インストールの準備

1)サーバプログラムの確認

ダウンロード&解凍した、サーバプログラムの確認を行います。

2)SuperStreamのOracleスキーマである【COREDBA】のパスワードが【COREDBA】 ではない場合、インストール用バッチファイルの中身を修正する必要があります。 パスワードが【COREDBA】の場合は当作業は不要です。3)にお進み下さい。

【修正対象】 サーバープログラム¥11インストール (1)[Install Trial.bat] (2)[UnInstall.bat] ③「インストール確認.bat] ※メモ帳などで開き、下記の箇所のパスワードを変更して下さい。 🐻 Install Trial.bat - メモ帳 ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H) 0echo /********************* @echo SCRIPT-NAME :エクセル仕訳バッチインプット用 0echo :DB環境構築バッチSQLスクリプト : 1.00 @echo Rev. @echo SPECIAL NOTE:################### 【トライアル版】 **** @echo -@echo Copyright(C) KISSEI COMTEC CO.,LTD. All Rights Reserved. Qecho off rem 初期化 実際のパスワードに変更 set CONNECT_DB= rem 入力要求 ※デフォルトはcoredba set /P CONNECT_DB="SuperStreamDB接続文字列を入力してください:" @echo on @echo 処理開始! @echo off SQLPLUS coredba/coredba@%CONNECT_DB% @..¥03バッチスクリプト¥install_trial > ..¥21ログ¥Result.txt exit

7/16

3) 【評価版】をインストールする事により、SuperStreamのデータベースサーバにオブジェクトが生成されますが、SuperStreamの標準機能に影響はありません。 但し、アドオンなどで<u>同名のオブジェクトを生成</u>している場合、既存のオブジェクトは破棄されてしまう可能性があるので注意が必要です。 ※『仕訳BIEX for SuperStream』【評価版】にて生成されるオブジェクト一覧については、

別紙『『仕訳BIEX for SuperStream』体験版のご案内』を参照下さい。

オブジェクト及びインストールの確認方法

サーバープログラム¥11インストール¥インストール確認.batを実行すると以下の画面が表示されるので、 インストール対象のSuperStream接続文字列(インスタンス名)を入力し実行してください。

名前 🔺	サイズ 種類	更新日時
🐻 Install_Trial.bat	2 KB MS-DOS バッチ ファ	2009/06/05 19:09
🐻 UnInstall.bat	1 KB MS-DOS バッチ ファ	2009/05/28 17:37
▼インストール確認bat	2 KB MS-DOS バッチ ファ.	2009/06/25 16:59

★未インストール状態及びオブジェクトなし★



★インストール済み及びオブジェクトあり★ C:¥WINDOWS¥system32¥cmd.exe XIPT-NAME : エクセル仕訳バッチインプット用 : DB環境構築オブジェクト確認 IAL NOTE: ######### 【トライアル版】 【製品版】共用######## yright(C) KISSEI COMTEC CO.,LTD. All Rights Reserved. ********** perStreamDB接続文字列を入力してください: core4kctsv0 オブジェクトが既に登録されているので、 2ェクト確認開始! インストールは出来ません! 別途、ご連絡下さい 、トール済みです。 ト件数: ***** +0 |よ <OFF> です。 オブジェクト一覧 ジェクト 」DECRYPT ,タイプ ,FUNCTION .06.22 18:54:4 L_PB10000 . PACKAGE 9.06.22 18:54: PACKAGE BODY .06.22 18:54:4 QL_PB10000 SEQUENCE EQ_BAT_NO .06.22 18:54: EQ_DEN_ID , SEQUENCE .06.22 18:54 , TABLE , TABLE CLIENT .06.22 18:54 ERRLOG 06.22 , TABLE ERRMST EXELOG , TABLE 06.22 18:54 IL LOENSE TABLE 9.06.22 18:54: TABLE 3PARMST 09.06.22 18:54: 09.06.22 18:54:3 SWKWRK , TABLE BDEN SELECT VIEW 09.06.22 18:54:3 行が選択されました。 ブジェクト確認終了! テするには何かキーを押してください ・・・

2.2.インストールの実施

サーバインストール作業は、SuperStreamのDBサーバにて行うか、 SuperStreamのDBサーバにSQL*PLUSで接続できるクライアントPCにて実行して下さい。

1)サーバープログラム¥11インストール→[Install_Trial.bat]を実行して下さい。

	× 名前 ▲	サイズ 種類	更新日時
😑 🛅 00_【★評価版★】2007年以降	Install_Trial.bat	1 KB MS-DOS バッチ ファ	2009/05/18 11:25
표 🛅 01オブジェクト	🐻 UnInstall.bat	1 KB MS-DOS バッチ ファ	2009/05/28 17:37
😠 🛅 02データ登録	■オブジェクト確認.bat	2 KB MS-DOS バッチ ファ	2009/05/29 16:30
표 🛅 03バッチスクリプト			
🗁 11インストール			
🖽 🛅 21 מש			
🗉 🛅 D1ドキュメント			

2)以下の画面が表示されますので、インストール対象のSuperStream接続文字列(インスタンス名)を入力し、Enterで実行して下さい。 評価版は、ライセンス数の入力が可能となりますので、御使用のライセンス数を入力し、Enterで実行してください。(上限100)



3)実行ログを確認し、	処理が正常終	了している	事を確認して	下さい。
	~	<u>, אר</u> ת		11 / -P 3

		- (19 -	1 21/1 (
🖃 🛅 00_【★評価版★】2007年以降	~	Result.txt	8 KB 5
🛅 01オブジェクト			
🛅 02データ登録			
🛅 03バッチスクリプト			
🛅 11インストール			
🗁 21oグ			
🗉 🫅 D1ドキュメント			

3. クライアント設定作業 3. 1. 「クライアントプログラム」の配備

1.「クライアントフロクラム」の配備 クライアントプログラムフォルダを、各クライアントPCにコピーします。					
×	名前 🔺	サイズ			
 □ 【仕訳BIEX 評価版】2006年以前 □ □ つうイアントプログラム □ 環境設定 ■ ローバープログラム 	 □環境設定 ■【管理者用】メンテナンス.×ls ■】仕訳BIEX.×ls 	282 KB 244 KB			

3. 2. 各種設定

1) 設定ファイル内のSuperStreamDBサーバの接続文字列を指定し、ファイルの保存を行う。
 【修正ファイル】
 [環境設定]→[KCXB.ini]

フォルダ	× _ 名前 ▲	サイズ	種類	更新日時	写真の撮影日	7
□ 11 クライアントプログラム 環境設定	 ◆ KCXB.ini ◆ Prject32.dll ※ 仕訳パッチインブット共通モジュ 注意(画球/).eif 注意(電球1).eif 注意(電球3).eif 注意(電球3).eif 注意(電球3).eif 	1 KB 225 KB 1,232 KB 19 KB 5 KB 5 KB 10 KB 81 KB	構成設定 アプリケーション拡張 Microsoft Office Ex GIF イメージ GIF イメージ GIF イメージ GIF イメージ GIF イメージ GIF イメージ	2009/05/28 17:44 2001/06/14 15:33 2009/05/27 12:02 2009/04/15 16:49 2009/04/28 16:27 2009/04/28 16:27 2009/04/28 16:29 2009/04/28 16:29		1(7, 5(1(6,
	KCXB.ini - メモ帳 □=(𝔄(𝔅)、得售(𝔅)、まま(𝔅)、ま					
	[DATABASE] SID=CORE [ExcelBat] DATA_ROW_MAX=3000 [CODE_LENGTH_SUPPORT] COD_1_LENGTH=ON COD_2_LENGTH=ON COD_4_LENGTH=ON COD_5_LENGTH=ON COD_7_LENGTH=ON SIR_LENGTH=ON TOK_LENGTH=ON					

2) 各クライアントPCのORACLEのバージョンによって、[環境設定]フォルダ内の以下のファイル名を

仕訳バッチインプット共通モジュール.xla に変更して下さい。

9iの場合	仕訳バッチインプット共通モジュール(9i).xla
10gの場合	仕訳バッチインプット共通モジュール(10g).xla

3)「【管理者用】メンテナンス.xls」を起動し、使用する端末のMACアドレスを登録します。 ※「マクロを有効にする」で実行します。

×	名前 🔺	サイズ
🛅 【仕訳BIEX 評価版】2006年以前 🔼	🗀 環境設定	
🖃 🗁 クライアントプログラム	【管理者用】メンテナンス.xls	282 KB
🛅 環境設定	彎仕訳BIEX×Is	244 KB
🗉 🛅 サーバープログラム		



②「クライアント情報」のシートを選択し、MACアドレスの欄にMACアドレスを入力し、[更新]ボタンを押します。

1	*						
2	*	クライアント情報メン	テナンス	検索	<u>更新</u>	再接続	ロクイン情報
÷	*						
	*	MACアドレス	削除フラグ	ユーザ名	メモ		
5	۱.,	(必須)					
6	L	00-1D-72-86-0C-9D		テストユーサ*01	テストューザ用のMACフ	7ドレス	
7							
8							
9							
10	-						
10	-		-				
12							
14							
15	i -						
16							
17	1						
18	1						
19							
20							
21							
22							
23							
24	-		-				
25	-		-				
26	-						
27							
20							
29			-				
31			-				
	1						
4 4	•	■\\ ハフメニタマスタ <mark> <u>リ</u>ライア</mark>	シト宿報	ミクロノ使案/			<

※【注意事項】

MACアドレスは、下記のmacアドレス取得方法の 一覧画面に表示されているように、 -(ハイフン)あり で登録してください。 ※macアドレスの取得方法 コマンドプロンプトを開き、[ipconfg /all]のコマンドを実行します。 「Physical Address」の部分

≤ 選択 C:¥₩INDO₩S¥system32¥cmd.ex	ke in the second se
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600] (C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.	
C:¥>IPCONFIG /ALL	
Windows IP Configuration	
Host Name	
Ethernet adapter ワイヤレス ネットワーク接続	
Media State	
Connection-specific DNS Suffix .: <u>Description</u> Physical Address Dhcp Enabled Autoconfiguration Enabled	Intel(R) 92566MM Gigabit Network Connection 00-1D-72-86-0C-9D
IP Address Subnet Mask Default Gateway DHCP Server DNS Servers	
Primary WINS Server : Lease Obtained : Lease Expires	
P+¥\	

3)作業が完了したら、一度EXCELブックを全て閉じてください。

4. 動作確認

- 4.1.動作確認作業
 - 1クライアントプログラムフォルダの、「仕訳BIEX.xls」をクリックします。 ※「マクロを有効にする」で実行します。

×	名前 🔺	サイズ
🛅 【仕訳BIEX 評価版】2006年以前 🔼	🛅 環境設定	
🖻 🗁 クライアントプログラム	⑧【管理者用】メンテナンス.xls	282 KB
🛅 環境設定	灣仕訳BIEX×Is	244 KB
🗉 🛅 サーバープログラム		

2) ログイン画面が表示され、ログインが正常に行われる事を確認して下さい。

💐 Microsoft Excel - 仕訳バッチインプット.xls						
: ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(P) 書式(Q) ツール	(T) データ(D)	ウィンドウ(W) へ)	レプ(圧)			質問を
	• B I <u>U</u>	Σ . ≣ ≣ ₹	- 🔤 🗐 🗐 🖃 🤘	2 🛒 %	, ≪.0 .00 ∰	🖅 🛄 • 🙆 • 🛕 •
D 🗃 🖟 B 🔿 I 🗷 D, I 🦈 🛝 I X 🖻 B <	1 - 1 - 1	$ \sum \cdot \sum_{Z} \cdot \sum_{A} Z Z A $	1 1 111 🛷	- 🕜 📮 🖾	1 2 2 3 3 5	M 5 8 8
	1 1 1 1 2					
A7 v fx *						
1 2		•	•			
A B C D E	G	P Q	X	Y Z	AA	AB AC
1 * A Kon式安行口時 A Kon	The	4-10	伝票検索		入力操作	
		<u> </u>	先頭行 最終行	🔺 🔻 fi	云栗行新規作成 新	観シート作成
4 *						
5 * 会計処理日 2009/05/27 9274区分	ログイン					【借方総
6 *	A44-7-1-12	CORE				
9 * < 伝票入力情報 >	211-1	OOKE	CORECTEDENTS			
10 * 伝票日付 伝票G 伝票D	ユーザーID	A	TEST		替区分	【借方】
	パスワード	*				
12 * 元伝票供案情報 / 元伝票G 元伝票G 元伝票						
15 * 香方	接続DB (CORE2kctsv09				
15 * 料目CD 補助CD 部門C	d				相手先	目手先CD
17		キャンセル	ログイン			
18		1				
20						
21 *						

※操作説明については、別紙「運用マニュアル」を参照下さい。

4.2. 動作確認でエラーが発生したら。。。。。





【対処方法】

- ①実行したExcelファイルと同じ場所に『環境設定』フォルダが 存在することを確認して下さい。
- ②『環境設定』フォルダ内に、[仕訳バッチインプット共通モジュール.xla] がある事を確認して下さい。
 - →ない場合、3.22)のファイル名変更を行って下さい

【対処方法】

①SuperStreamのインストールディレクトリから

[ClientMGR.exe]を起動してください。

②クライアント情報のMACアドレスを確認し、

3.23)の「【管理者用】メンテナンス.xls」で登録したMACアドレスと

同じことを確認して下さい。

<u>【注意】</u>

[ClientMGR.exe]で登録するMACアドレスは、

必ず、<u>-(ハイフン)なし</u>で登録してください。

SuperSt	ream-CORE ClientMGR 📃 🗖 🔛
「クライアン	- 情報
os	Windows NT 5.1.2600(Service Pack 3)
#⊼Ւ-₹	LENOVO-452DA71B(172.30.192.18)
環境	ファイルの所在 C:¥₩INDO₩S¥SSCORE.INI
接	統先データベース CORE1KCTSV09 変更
M /	AC 7ト レス 001072860C9E 端末番号 201 端末番号登録
CORE	モジュール起動フォルダ

5. アンインストールについて

<u>本ソフトウェアを試用・評価後、本ソフトウェアをサーバ環境及びクライアント環境から、お客様自らが消去しなければなりません。</u>

5.1.サーバアンインストール作業

1)アンインストールの実施

サーバープログラム¥11イン	シストール→	UnInstall.batを実行して下さい。
×	名前 🔺	サイズ 種類

😑 🛅 00【★評価版★】2007年以降	~	Install_Trial.bat	1 KB	MS-DOS バッチ ファ	2009/05/18 11:25
표 🛅 01オブジェクト		🐻 UnInstall.bat	1 KB	MS-DOS バッチ ファ	2009/05/28 17:37
🗉 🛅 02データ登録		■オブジェクト確認.bat	2 KB	MS-DOS バッチ ファ	2009/05/29 16:30
표 🛅 03バッチスクリプト					
🗁 11インストール					
표 🛅 21ログ					
😠 🛅 D1ドキュメント					

3)以下の画面が表示されますので、インストール対象のSuperStream接続文字列(インスタンス名)を入力し、Enterで実行して下さい。

更新日時



4)実行ログを確認し、処理が正常終了している事を確認して下さい。

	×	名前 🔺	サイズ 7
🖃 🛅 00_【★評価版★】2007年以降	~	📕 Result.txt	8 KB 5
🛅 01オブジェクト			
🛅 02データ登録			
🛅 03バッチスクリプト			
🛅 11インストール			
🗁 21 o グ			
🗉 🛅 D1 ドキュメント			

5.2. クライアントアンインストール作業

1)3.1.「クライアントプログラム」の配備で、各クライアントPCにコピーした、 クライアントプログラムフォルダをPC上から削除して下さい。

※本ソフトウェアはレジストリ等に設定を書き込まない為、フォルダの削除でアンインストールは完了となります。

11 7 - 11 - 1